

新型コロナウイルス感染拡大下の科学者・技術者の実態調査（追跡調査）

平素より森林学会・木材学会のダイバーシティ推進委員会の活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により2020年4月に出された緊急事態宣言以来、日常生活の変革が求められ、研究・教育活動でも様々な対応をせざるを得なくなりました。感染の再度拡大が強く懸念され、環境の変化が断続的に繰り返されることが懸念されます。このような変化において、現在の科学者・技術者の実態を調査し、必要とされる支援を早急に国に要望したいと考え、男女共同参画学協会連絡会の提言・要望書委員会におきまして、科学者・技術者の実態を調査するための個人アンケート「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査」が2020年5～6月に実施されました

(<https://www.djrenrakukai.org/index.html>)。

これを受けて、この度の日本森林学会・日本木材学会合同において、追跡調査を企画しました。実態を調査し、研究者・技術者の環境改善に役立てたく存じます。なお、個人情報保護につきましては法令を遵守いたし、個人の特定は行いません。

下記フォームより、2021年3月10日までにご回答いただきたくお願いいたします。なお、両方の学会にご所属の場合でも、回答はお一人一回でお願いいたします。

アンケートに要する時間は10分程度です。ぜひ、幅広くご周知いただき、より多くの方にご回答いただけるよう、ご協力の程を何卒よろしくお願いいたします。

集計結果につきましては、2021年3月24日（水）にオンラインにて開催予定のシンポジウムおよび学会時の委員会活動報告ポスターにて報告します。

日本木材学会・日本森林学会 ダイバーシティ推進委員会

***必須**

1. 設問1.1. あなたの性別を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 男性
- 女性
- 答えたくない

2。 設問1.2. あなたの年齢を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 24歳以下
- 25～29歳
- 30～34歳
- 35～44歳
- 45～54歳
- 55歳以上

3。 設問2. 男女共同参画学協会連絡会により2020年5～6月に実施された「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査」個人アンケートに回答しましたか。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 回答した
- 回答していない
- 覚えていない

4。 設問3.1. あなたが所属している学会を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 日本森林学会
- 日本木材学会
- 両方
- どちらにも所属していない

5. 設問3.2. あなたの専門分野について、最も近いものを1つお選びください。
(必須回答) *

1つだけマークしてください。

- 物理系
- 化学系
- 材料系
- 建築系
- 生物・生命系
- 機械系
- 環境系
- 教育系
- 経済学系
- その他: _____

6. 設問3.3. あなたの研究の形態について、最も近いものを1つお選びください。
(必須回答) *

1つだけマークしてください。

- フィールドワーク
- ラボワーク
- デスクワーク
- その他: _____

7. 問3.4. あなたの役職名（身分）を教えてください。*

1つだけマークしてください。

- 研究員
- 技能員
- 助手・助教相当
- 講師相当
- 准教授相当
- 教授相当
- 執行部（学部長および同等職以上）
- 学生（大学院生も含む）
- その他: _____

8. 設問3.5. あなたの雇用形態を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 任期付・契約期限付き職
- 任期・契約期間のない職
- テニユアトラック型の職
- 学生
- 答えたくない

9. 設問4. 同居中のご家族の有無を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 一人暮らし
- 自分 + パートナー
- 自分 + パートナー + 自分の子供 [未婚]
- 自分 + パートナー + 自分の子供 [未婚] + 親
- 自分 + 自分の子供 [未婚]
- 自分 + 自分の子供 [未婚] + 親
- 自分 [未婚] (と自分のきょうだい) + 親
- 自分 [未婚] (と自分のきょうだい) + 親 + 祖父母
- 答えたくない
- その他: _____

10. 設問5. 介護中のご家族の有無を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- いる
- いない

新型コロナウイルス感染拡大後の変化を教えてください。

11. 設問6.1. 一年前と比べて、あなたの現在の勤務状況を教えてください。（必須回答）*

1つだけマークしてください。

- 以前と変わらない
- 週1, 2回在宅
- 週3回以上在宅
- 在宅のみ

12. 設問6.2. あなたの所属先では、在宅勤務が制度化されましたか。

1つだけマークしてください。

- 制度化された（一時的な措置または適用者が限られる場合も含む）
- 制度化されていない
- わからない
- その他: _____

13. 設問7.1. 現在の研究に費やす時間は、昨年度と比べて増えたまたは減ったかを教えてください。*

1つだけマークしてください。

- 増えた
- 減った
- 変わらない

14. 設問7.2.1. 現在の研究内容について教えてください。*

1つだけマークしてください。

- 研究の内容に変更はない
- 研究の内容を変更した

15. 設問7.2.2 設問7.2.1で研究の内容を変更した方にお聴きします。どのような変更をしたのか、差し支えのない範囲でお書きください。

16. 設問7.3. 現在の研究の質について教えてください。*

1つだけマークしてください。

- 研究の質は上がった
- 研究の質は下がった
- 変わらない

17. 設問7.4.1. 研究生活における不安はありますか。*

1つだけマークしてください。

- 大変不安である
- やや不安である
- 不安はない

18. 設問7.4.2. 設問7.4.1で「研究生活に不安がある」と答えた方にお聞きします。その不安は何ですか。最も近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 自身の雇用継続
- テンユア審査の時期
- キャリア形成への影響
- 研究費の執行
- 実験や調査の内容・質
- 学生指導
- 人間関係
- その他: _____

設問8.1～8.5は教育に関わっている方のみお答えください。

19. 設問8.1. 現在の教育に費やす時間は、昨年度と比べて増えましたか。

1つだけマークしてください。

- 増えた
- 減った
- 変わらない

20. 設問8.2.1. 現在の教育の内容は、昨年度と比べて変わりましたか。

1つだけマークしてください。

- 変わらない
- 変わった

21. 設問8.3.1 野外実習についておうかがいします。2020年度に野外での実習を実施しましたか？(代表的なものについてお答えください。)

1つだけマークしてください。

- ほぼ例年通り実施した
- 期間や内容を変更して実施した
- 中止した
- 例年実施していない
- その他: _____

22. 設問8.3.2 校内の実習についておうかがいします。2020年度に校内での実習（学生実験など）を実施しましたか？（代表的なものについてお答えください。）

1つだけマークしてください。

- ほぼ例年通り実施した
- 期間や内容を変更して実施した
- 中止した
- 例年実施していない
- その他: _____

23. 設問8.4. 現在の教育の質は、昨年度と比べて変わりましたか。

1つだけマークしてください。

- 上がった
- 下がった
- 変わらない

24. 設問8.5.1. 教育に対する不安はありますか。

1つだけマークしてください。

- 大変不安である
- やや不安である
- 不安はない

25. 設問8.5.2. 設問8.5.1で「教育に不安がある」と答えた方にお聞きします。その不安は何ですか。最も近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 教育の内容・質
- 学生とのコミュニケーション
- 学生の成績の判定
- その他: _____

26. 設問8.6. 遠隔授業・オンライン授業を導入された方にお聞きします。必要なデバイス機器、使用費や購入費またはネットワーク利用費などの費用はどこで負担しましたか。

1つだけマークしてください。

- 大学や施設の負担
- 自己負担
- その他: _____

27. 設問8.7. 学生・大学院生の抱えている問題は何ですか。最も近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- メンタルな問題が増えた
- 連絡が取れなくなった
- 経済的に苦しくなった
- 退学してしまった
- 家庭環境が変わって学業に影響が出た
- 卒論などのために、十分な実験時間やフィールド調査の時間が取れない
- 卒論・修論・博士論文が間に合わない
- 特に問題はない
- その他: _____

28. 設問9.1.1. 研究や教育以外の生活についての不安はありますか。

1つだけマークしてください。

- 大変不安である
- やや不安である
- 不安はない
- 答えたくない

29. 設問9.1.2. 設問9.1.1で「不安がある」と答えた方にお聞きします。その不安は何ですか。最も近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 自身の身分の継続
- 子供の教育
- 配偶者の職
- 自身や家族の健康
- その他: _____

設問9.2～9.3は指導的立場にある方のみお答えください。

30. 設問9.2. 部下、スタッフ、ポスドクなどからメンタル面での相談を受けましたか。

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ

- 31。 設問9.3. 相談内容や部下、スタッフ、ポスドクなどが抱える問題点を差しさわりの無い範囲で記述してください。（自由記述）

- 32。 設問10. 現状における勤務上の支障について、最も近いものを1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 育児の増加
- 介護の増加
- 家事負担の増加
- 単身赴任や遠距離による移動の制限
- 国内外の出張ができないこと
- ネットワークアクセス、またそのためのデバイス機器使用による出費
- オンライン授業や遠隔授業の準備
- その他: _____

- 33。 設問11.1. 今回の状況において要望したい支援は何ですか。最も近いものを1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 雇用期間の延長
- 研究費執行期間の延長
- 報告書などの提出期限の延長
- ネットワーク環境の整備
- テニユアトラックなど、成果評価審査の延長
- その他: _____

34. 設問11.2. 今回の状況を受けて改善されたことはありましたか。もっとも近いものを1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 雇用期間の延長
- 研究費執行期間の延長
- 報告書などの提出期限の延長
- ネットワーク環境の整備
- テニユアトラックなど、成果評価審査の延長
- 特に改善されたことはない
- その他: _____

35. 設問12.1. 今後要望したい勤務制度や支援策は何ですか。最も近いものを1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 在宅勤務の拡充
- ネットワーク環境の強化
- Web会議推進
- Webの授業や研究指導の導入・継続
- 大学や職場での各種手続きのオンライン化
- パソコンの学外（職場外）の使用
- 在宅勤務のためのWeb環境整備の補助
- VPNを用いた学外での論文閲覧
- その他: _____

- 36。 設問12.2. 今回の状況を受けて勤務制度に関し改善されたことはありましたか。もっとも近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 在宅勤務の拡充
- ネットワーク環境の強化
- Web会議推進
- Webの授業や研究指導の導入・継続
- 大学や職場での各種手続きのオンライン化
- パソコンの学外（職場外）の使用
- 在宅勤務のためのWeb環境整備の補助
- VPNを用いた学外での論文閲覧
- 特に改善されたことはない
- その他: _____

- 37。 設問13.1. 今後の働き方改革として、通常時にも在宅勤務を導入して欲しいですか。*

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ
- どちらでもない

- 38。 設問13.2. 設問13.1で「はい」を選んだ方に質問します。通常時においてどのような場面で在宅勤務を利用したいですか。最も近いものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 育児中
- 介護中
- 単身赴任中
- 病気療養中
- その他: _____

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

設問製作は、志牟田美佐先生・野尻美保子先生・男女共同参画学協会連絡会 提言・要望書WGによって行われ、日本木材学会・日本森林学会ダイバーシティ推進委員会によって改変されました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

